



令和7年10月2日
時点



令和7年度採択事業

株式会社資生堂

乳児の肌バリア保護を目指した保護者の行動変容
促進効果に関する研究事業

- アトピー性皮膚炎や食物アレルギー疾患は、人生のQOLを大きく左右する健康課題です。
- 乳幼児期に発症することの多いアレルギーには肌バリアの悪化が関連しているということの認識が浸透しつつあるものの、乳児の肌を保護する行動については不安を感じている保護者が多い現実があります。
- そこで、肌バリア機能のバイオ指標を用いた角層検査キットを用いて、乳児の肌バリア保護の状態を数値化・見える化することで、乳児の肌バリア保護に努める行動変容に影響を与え得るかを検証します。

(1) 実証事業者：株式会社資生堂

(2) テーマ名：乳児の肌バリア保護を目指した保護者の行動変容促進効果に関する研究事業

(3) 対象となる未病領域：健康に関する意識・行動変容

(4) 実施期間：令和7年9月から
令和8年3月（予定）

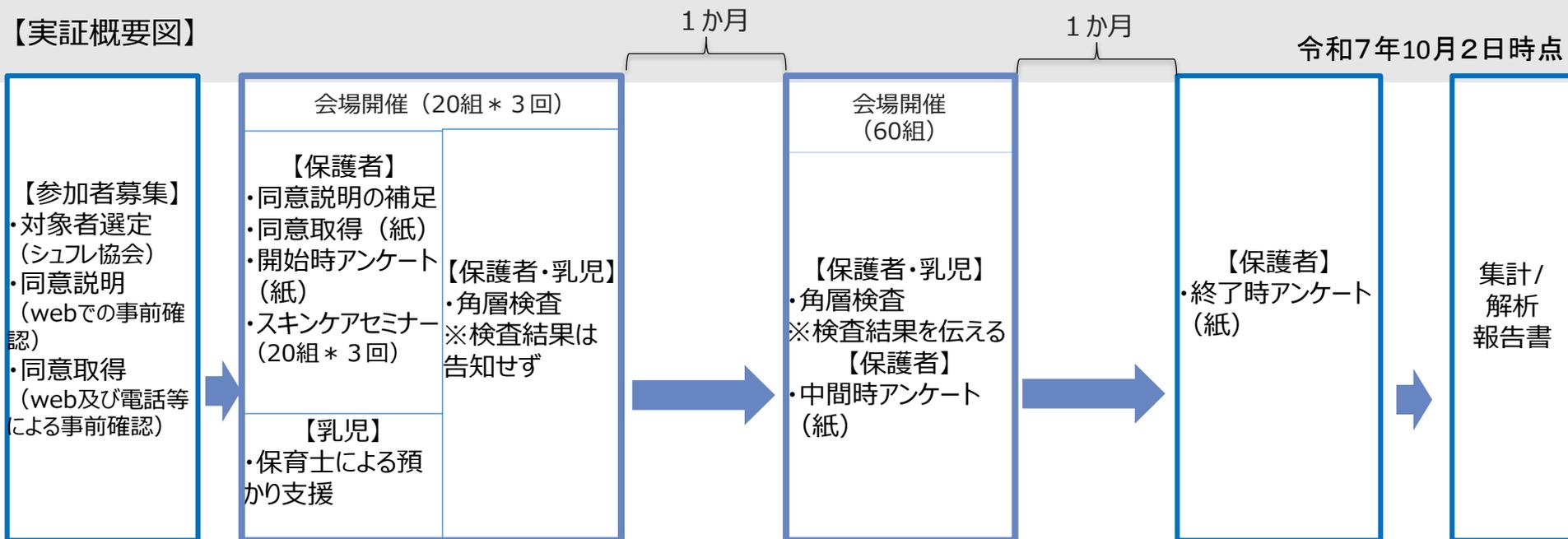
(5) 実証事業参加者：60組程度（予定）

生後2か月～11か月の乳児とその保護者



肌バリア状態の解析

【実証概要図】



(6) 実施内容：

項目	内容
参加募集者	○本実証事業への参加にあたり十分な説明を受け、保護者の自由意思により文書による同意を得る。
参加対象者	○2ヶ月～11ヶ月の乳児とその保護者（※角層採取部位（頬～口唇周囲）に皮膚疾患がある乳児を除外する。）
実施方法	①乳児へのスキンケアやアレルギーについてのアンケートを保護者へ実施する。 ②皮膚科医によるスキンケアセミナーを実施し、乳児の肌特性や肌バリアの保護の重要性を認知してもらう。 ③肌バリアの保護に役立つ乳液を提供し、使用方法の指導を行う。 ④乳児の角層検査を行う。 ※乳児に検査を行うことが許容可能かの判断のため（粘着力強度などの確認）、保護者の腕で角層を採取してから乳児の検査を行う。
評価項目	○スキンケアに関する意識・行動変容に関するアンケート、角層検査結果、角層中SCCA1量の範囲
評価	○開始時、1か月後の中間検査、終了時の変化を評価する。